

### 3. モデル事業所の選定

「アンケート結果にみる影響度の高い業種」及び「アンケートへの記述」、「令和2年4月以降の全国紙3紙、経済紙1紙、地元紙1紙の5社の記事」、「事業所のホームページをはじめとするweb情報」などを参考に、モデル事業所候補16社を選定し、委員会に諮った。

各事業所への取材（インタビュー）を実施、その際併せて、下記の4つの「経営のウエイト」をご回答いただき、そのウエイトが一番の項目により、モデル事業所を分類したので、ご一読の際に参考としていただきたい。

#### (1)経営へのウエイトにより分類したモデル事業所16（50音順）

##### i：他社や地域との連携・協働を重視するタイプ

<p>① <u>（一社）大歩危・祖谷いってみる会</u>          宿泊・飲食サービス業 三好市          p 2 0</p>	<p>高速道路網整備により通過点となる危機感を持ち、「大歩危祖谷温泉郷」という名前で、地域の売り出しを考え、「大歩危・祖谷いってみる会」を立ち上げ、インバウンドにもいち早く着手した。</p>
<p>② <u>四国三郎の郷</u>  <u>「四国アウトドア事業者協会」</u>          宿泊・飲食サービス業 美馬市          p 2 2</p>	<p>新型コロナウイルスでキャンプ場は来場者が激減。四国のキャンプ場などアウトドア関連事業者が協会を発足させ、横の連携により、四国の活性化を視野に活動している。</p>
<p>③ <u>（株）ときわ</u>          サービス業 徳島市          p 2 4</p>	<p>新型コロナウイルスがブライダル業界を直撃したが、新事業として社内副業を開始。ブライダル関連以外にも地域と連携して農業を行うとともに、キャンプ場も展開している。</p>
<p>④ <u>（一社）徳島県建設業協会</u>          建設業 徳島市          p 2 6</p>	<p>建設業は、地域のインフラ整備や維持など、必要不可欠な産業であるにも関わらず、人材不足などの諸課題を抱える。このため、強い使命感のもと、「経営の安定」と「従業員の育成、担い手の確保」を支援。</p>
<p>⑤ <u>（一社）徳島ビルメンテナンス協会</u>          サービス業 徳島市          p 2 8</p>	<p>新型コロナウイルスの蔓延する状況下は、まさにビルメンテナンス業の存在意義が再認識される場面であり、業界の拠点である「会館」を対コロナのモデル的な職場として見える化を推進。</p>
<p>⑥ <u>（株）本家松浦酒造場</u>          製造業 鳴門市          p 3 0</p>	<p>消毒液の代替品として、「松浦高濃度アルコール66」を販売。今後は、旅行会社と提携して「鳴門酒蔵街道」と名付けたツアーなども計画中であり、地域の創生を目指している。</p>

### ii：自社の人材とスキルのアップを重視するタイプ

<p>⑦ <u>(株)ネオビエント</u> サービス業 北島町 p 3 2</p>	<p>前向きな経営姿勢と働きやすい職場づくりを推進してきたが、集客がメインのため、コロナ禍が事業を直撃。新規分野の積極的開拓や雇用の維持に全力で取り組む。</p>
<p>⑧ <u>(株)ボン・アーム</u> 卸・小売業 徳島市 p 3 4</p>	<p>県内で4店舗を運営する調剤薬局で、働きやすい職場づくりや健康経営、藍の評価などに取り組むも、新型コロナで経営がマイナスの影響。しかし、社会貢献など、企業理念に基づき「ぶれず」に事業を継続。</p>

### iii：事業の多面化により経営の安定化を重視するタイプ

<p>⑨ <u>(株)エス・ビー・シー</u> 建設業 美馬市 p 3 6</p>	<p>地質調査に始まり、現場の全ての工程をワンストップで実施が可能という強み。さらに、ICT施工、AIソフト開発、建築、特許技術の取得など、多岐にわたる事業展開を図っている。</p>
<p>⑩ <u>徳島合同証券(株)</u> 金融業 徳島市 p 3 8</p>	<p>コロナ禍ではクラウドファンディングで飲食店を応援、長期投資による資産形成で徳島を元気にしたいと考えている。地域の金融機関としてオペラを企画するなど地域活性化を目指している。</p>
<p>⑪ <u>(株)西瀨スレート工業所</u> 建設業 阿波市 p 4 0</p>	<p>「地元阿波市と子供たちの未来のために」という強い想いのもと、お客様のニーズに応えるなか、「屋根工事」、「瓦や漆喰の製造」、「リフォーム工事」、「太陽光発電」、そして「植物工場」へとプロ人材を武器に挑戦を続けている。</p>
<p>⑫ <u>福山印刷(株)</u> 製造業 牟岐町 p 4 2</p>	<p>「地理的には不利な立地」にあるが、コロナ禍でもプラス経営。SDGsを宣言し、インバウンドや海外輸出向けなどの極めてハイレベルな印刷サービスを提供。更に高度なIT化を図り、次のステップを見据えている。</p>

iv:時代のニーズの先取りを重視するタイプ

<p>⑬ <u>(株)KOF5</u>          宿泊・飲食サービス業 徳島市          p 4 4</p>	<p>コロナ以前から取り組んでいた「テイクアウト」で売り上げを伸ばし、次の段階である「コロナ後の食の変化」を考慮した新店舗を計画し、出店する。</p>
<p>⑭ <u>(株)服部製糖所</u>          製造業 阿波市          p 4 6</p>	<p>コロナ禍では、経営が卸売り主体であったため、売上が大きく減少。オンラインショップを開設、SNSで話題となり、月替わりのおはぎ「花輝」は、数カ月待ちになることもあった。</p>
<p>⑮ <u>(株)広沢自動車学校</u>          サービス業 徳島市          p 4 8</p>	<p>動画制作やSNS活用に力を入れ、ドローンスクールも手掛けている。コロナ禍では、新サービスで「社内動画クリエイター」をリリースし、時代の先取りを目指している。</p>
<p>⑯ <u>理容たけうち</u>          サービス業 藍住町          p 5 0</p>	<p>HPで店内状況が確認でき、3密回避対策を実践。「特殊理美容車両」を購入、個別に訪問理容を展開する福祉に特化した理容店。</p>

## (2)4分類した各事業所の紹介

### i : 他社や地域との連携・協働を重視するタイプ



#### ①一般社団法人 大歩危・祖谷いってみる会

かつての大歩危・祖谷地域は、日本三大秘境の一つで「祖谷のかずら橋」や「大歩危峡」は有名ではあったが、観光地という「点」であった。

平成12年に、大歩危・祖谷地区のホテル5社が集い、四国の高速道路網が整備される中、通過点となってしまいう危機感を持ち、「大歩危祖谷温泉郷」という名前で「地域」の売り出しが重要と考え、その後、観光関連の31社に賛助会員として入ってもらい「大歩危・祖谷いってみる会」という組織を立ち上げた。

「大歩危祖谷温泉郷」を地域ブランドとして統一し、ホテルの必需品の共同購入や5軒のホテルを平等に取り扱うことの徹底などを図りながら、インバウンドにいち早く着目した。

ライバルは国内ではなく世界を見据え、ブランドを「そこにしかないものや、そこでしか出来ないことを、そこにいる人が介在すること」であるとの考えのもと、「住んでよし、訪れてよし」の世界に通じる観光地づくりを目指している。

平成15年からのビジット・ジャパン・キャンペーンにおいては、いち早くインバウンドに着手、外国人旅行者は25%程度と四国内では突出した数字となり、パイオニア的存在となった。





平成23年には、「そらの郷」というDMO（観光地域づくり法人）が4つの市町により、広域連携の組織として設立され、同会は会員として参画し、世界を視野にいたした展開を構想している。

しかしながら、新型コロナウイルスにより、インバウンドはなくなり、国内客にも急ブレーキがかかった。

ここで再度、観光立国の理念「住んでよし、訪れてよし」のスローガンにかえり、会員企業を中心とした地域の清掃活動、徳島県内や近隣県からお客様に來ていただく近場プラン、地域の料理人向けのメニュー開発研修会、さらには、官民連携のプロジェクトチームを立ち上げるなど、アフターコロナを見据えた取り組みを進めている。

これまで忙しくてできなかった、「社員が地元を知るための観光地を巡る研修」や「タリフやパンフレットなどのツールの整備」など、反転攻勢の機会を待ち、活動の原点である「100年後も美しい大歩危祖谷」を目指している。



#### 一般社団法人 大歩危・祖谷いってみる会

事務局所在地：〒778-0165

徳島県三好市池田町松尾松本367-28（ホテル祖谷温泉）

設立：平成12年10月

電話番号：0883-75-2311

FAX：0883-75-2418

会員数：5社

メールアドレス：oboke-iya@gmail.com

モバイルサイト：<http://oboke-iya.jp/mobile/m.html>

ウェブサイト：<https://www.oboke-iya.jp/>



## ②四国三郎の郷

### 「四国アウトドア事業者協会」

アウトドア業界は、「非日常」を味わうため自然の中に身を置くことの魅力や、「働き方改革」をはじめとする「これまでの日本人の生き方の見直し」の風潮の中で、着実にファン層を増やし、この受け皿として、キャンプ場やアウトドアショップなどの関連事業者も右肩上がりに増えてきていた。

四国三郎の郷は、初心者からベテランキャンパーまで楽しめる「総合アウトドアパラダイス」をキーワードに開設されたオートキャンプ場で、設備の充実、高速道路からのアクセスの良さ、さらに南北両サイドが吉野川と阿讃山脈を見わたせるロケーションの良さ、買い物の利便性などから、「予約が取りにくいキャンプ場」と言われるぐらい、活況を呈していた。

しかしながら、新型コロナウイルスの影響で、キャンプはおろか外出自粛が叫ばれる中、来場者は激減するとともに、休業要請への対応など、キャンプ場の横の繋がりがなかったため、各施設の対応がわからず、判断に迷ってしまった。

このため、四国三郎の郷の松浦郁紀施設長が、中四国のキャンプ場のイベントなどをサポートしている任意団体の吉田雅宏代表に相談し、「四国キャンプ場盛り上げ隊」の集まりを開催し、「キャンプ業界などが手を取り合い、四国のキャンプ場と四国全体を盛り上げること」が話し合われた。



その翌月には、「四国アウトドア事業者協会」という団体の設立総会を開催し、キャンプ場やアウトドアショップなど関連事業者約30団体が協会を発足させた。代表理事に松浦施設長を、事務局を四国三郎の郷において活性化策の検討や勉強会の開催など、広報やクオリティを高める取り組みを進めている。

第1弾として、「SHIKOKU アウトドアラリー」と名付けたスタンプラリーを企画し、併せて「フォトコンテスト」も開催している。

今後は、各施設毎に魅力を磨き上げていくとともに、横の繋がりを強めていくことで、アウトドア人口を増やし、「家族をリードする女性（母親）」や「キャンプをすることは防災である。」など、新たな視点からキャンプ場を見つめ直すなど、個々の施設のみならずアウトドア業界、さらには四国全体の活性化につなげていきたいと考えている。



#### 四国三郎の郷

##### 「四国アウトドア事業者協会」

事務局所在地：〒771-2107

美馬市美馬町字境目39-10

設立：令和2年6月

電話番号：0883-55-2002

FAX：0883-63-2727

メール：info@mimacamp.jp

会員数：約30事業者等

ウェブサイト：<http://mimacamp.jp/>





### ③株式会社ときわ

株式会社ときわは、創業60年以上の歴史を持つ会社であり、ブライダル関連事業を展開している。現在の事業内容は、ブライダル関連衣裳のレンタル並びに関連商品の販売、結婚式場の運営、式場紹介、海外挙式、レストラン、イベント、旅行等であり、ブライダル関連すべてに携わってトータルプロデュースしている。

ときわでは、「人と人との絆を重んじる仕事であるからには、社員が幸福で日々に満足し、輝いていなければお客様に最高の提案をすることができない」と考えているため、働きやすい職場作りにも力を入れている。女性が多い職場で、結婚や育児があったとしても仕事を続けられる環境を整えるために、フレックスタイム制を取り入れ、事業所内保育所を開所した。平成30年度は5名の男性が育児休暇を取得しており、ときわでは、男女ともに輝いて仕事ができる環境が用意されている。

ところが、新型コロナウイルスの猛威がブライダル業界を直撃。令和2年3月から結婚式のキャンセルや延期が続き、卒業式や各種イベント、宴会、パーティ等がある繁忙期の売上は、80～90%減少した。そこで、結婚式はwithコロナを踏まえて披露宴を二部制にする、リモートウェディングを行うなど新しいウェディングの形を提案している。感染対策を徹底的に行った上で安心、安全な結婚式を執り行うための努力をしている。





コロナ禍では「社内副業」の事業を開始した。これは、ときわが依頼を請け負って社員を他社の講師、コンサルタントとして派遣する事業である。社員が今まで学んできたスキルを提供し、報酬を会社が全て受け取るのではなく、社員へ還元することで給料とは別の報酬が得られる仕組みであり、社員のモチベーションアップになっている。さらに、社員も自己研鑽に励むことに繋がっていく。

今後は、美馬市と提携し、廃校を利用したキャンプ場を計画している。レストラン事業も展開しているときわだからこそ、おしゃれなキャンプ料理も提供できる。さらに、キッチンスタッフは佐那河内村の農地で野菜を育てる活動を始めた。イタリアンや結婚式で提供する野菜を自ら育てることで、料理を通してストーリーを紡いでいく、という地域と連携した取り組みをしており、ブライダルとは違う分野からでも、クリエイティブなスタイルを次々と提案し、感動体験を与えていく。



会社名 : 株式会社ときわ  
所在地 : 〒770-0805 徳島県徳島市下助任町3丁目20-2  
設立 : 平成4年3月  
電話番号 : 088-622-0011  
FAX : 088-622-0068  
資本金 : 3,600万円  
従業員数 : 141名  
ウェブサイト : <https://www.bctokiwa.co.jp/>



#### ④一般社団法人 徳島県建設業協会

建設業は、地域のインフラ整備や維持の担い手であると同時に、災害時の応急対応、さらには、林業や農業をも支える役割も担うなど、地域雇用の基幹的役割を担っている。

特に、近年の気候変動による自然災害の多発化、激甚化に対しては、パトロールや初期の緊急対応、道路の啓開（けいかい：最低限の救援ルートの確保）など、地域に精通した地元建設業者ならではの活動が不可欠となっている。

しかしながら、建設業の現状をみると、バブル経済崩壊以降の長期にわたる建設投資の減少に伴い、事業者数や従事者数、さらには保有する機材の減少など、地域に欠かせない業種といわれながら、厳しい経営環境下に置かれている。

とりわけ人材については深刻な不足状態にあり、若者の建設業離れと高齢化が顕著である。

徳島県建設業協会は、「つくる」「そなえる」そして「まもる」を使命に、これら地域の事業者の声によく耳を傾け、その「経営の安定」と「従事者の育成、担い手の確保」を支援している。





具体的には、「大規模災害発生時における支援活動に関する協定」や「家畜伝染病発生時における支援活動業務に関する協定」等を国土交通省や徳島県と結び、自然災害や鳥インフルエンザ等が発生した時には危険を顧みず「真っ先に」駆けつけ、「一心に」安全安心な暮らしをまもる建設企業の使命を果たしている。

また、建設従事者を守るための労災補償制度に加え、「法定外の労使補償制度である建設共済保険」や「第三者への賠償責任補償制度」の導入促進、建設従事者の健康と労働災害の減少を目的とした「けんせつ体幹体操」の普及、従事者の統一的な評価を行うための「建設キャリアアップシステム」の導入促進、さらには建設業全体の魅力アップに向けた広報等に取り組んでいる。

会員企業における生産性の向上を図り、若者や女性にも魅力ある業界を目指し、ドローンを活用した3次元測量などICTを活用した建設業のイノベーション「i-Construction」の普及促進を図るとともに、国の「建設業働き方改革加速プログラム」に基づく従事者の処遇改善や担い手の確保など、建設業全般に関わる様々な取り組みを進めているところである。

一方、新型コロナウイルスにより県内建設業者の60%超がマイナスの影響があった、とのアンケート結果がある。（徳島県労働雇用戦略課調べ）

公共事業においては、これまでの国土強靱化緊急対策が5年間延長となったが、民間工事の中止や工期の延期もあり、売上げの減少している企業もある。

今後、建設業界全体が安定経営を実現していくためには、従来から抱えている人材確保をはじめとする諸課題を解決していく必要があるとされている。

国においては、中長期的な担い手の育成・確保のための法律改正がなされたところであり、「賃金」「雇用の安定・人生設計」「労働時間・休暇」「職場環境・人材育成」の各般にわたる働き方の抜本的な取り組みが進められている。

同協会では、「建設業の魅力発信」や「ICTを導入した設計や施工管理」など、国や県と連携し、業界をあげ、次の時代を見据えた取り組みを、着実に進めているところである。



#### 一般社団法人 徳島県建設業協会

事務局所在地：〒770-0931

徳島市富田浜2-10 徳島県建設センター2階

設立：昭和26年5月

電話番号：088-622-3113

FAX：088-652-7609

会員企業：400社（県内に8支部）

ウェブサイト：<https://www.tokuken.or.jp/>





## ⑤一般社団法人 徳島ビルメンテナンス協会

ビルメンテナンス業は、商業施設や公共施設など、多くの人が利用している施設の清掃や管理、警備や害虫の駆除などを行う業務で、法律に基づき、「ビルメンテナンス業」を営む専門家がいき、施設の安全や衛生、快適性や利便性を維持している。

業務に多くの人員を擁する労働集約的な色彩が濃いことのほか、労働力の多くを女性が占めるとともに、比較的高齢の従事者が多いのも特徴である。

徳島ビルメンテナンス協会は、地域と時代が求めるニーズに応えるため、会員企業やその業務の検証や研鑽に努めつつ、社会貢献にも積極的に取り組んできた。



特別支援学校の就労支援のための夢チャレンジフェアへの支援、障がい者技能競技大会であるアビリンピック徳島大会（ビルクリーニングの部）開催の全面支援、災害時対応に関する協定や障がい者の就労支援に関する協定の締結、とくしまマラソンへのボランティア参加など、多方面にわたり、地域に根付き、地域の企業をリードする取り組みを牽引してきた。

（各種社会貢献活動等の取組については、同会のHPを参照して下さい。）

新型コロナウイルスの蔓延する状況下においては、まさにビルメンテナンス業の存在意義が再認識される場面であり、責任の重要性を痛感するとともに、各種対策を講じてきたところである。

このため同協会としては、いち早く、業界の拠点としての「徳島ビルメンテナンス会館」において、最新の衛生機器（非接触型の体温計や飛沫防止パネルなど）を導入し、モデル的な職場環境の見える化を図るとともに、「3密回避」の徹底を強く情報発信しているところである。

コロナ禍の克服に向け、今後もビルメンテナンス業の使命に基づき、これまでの取り組みや最新の情報提供・器機の導入などに尽力することとしている。

また、高齢の従事者が多いことから「健康管理への留意」や、「人材、人手不足への対応」、また、新築物件の減少や稼働するビル・フロアの減少など「将来需要の減少への備え」など、菊池健次会長を先頭に、役員と事務局が一体となり、常に「これからの業界のあるべき姿」を見据えた事業を展開していきたいと考えている。

#### 一般社団法人 徳島ビルメンテナンス協会

事務局所在地：〒770-0942

徳島市昭和町二丁目56

徳島ビルメンテナンス会館

設立：昭和42年1月

昭和61年4月 社団法人成立

平成25年4月 一般社団法人移行)

電話番号：088-625-2360

FAX：088-655-1565



県立防災センターで避難所での健康管理について講義

ウェブサイト：<https://www.ict-tokushima.jp/tokushima-bm/html/htdocs/>

会員 企業：正会員20社

賛助会員6社





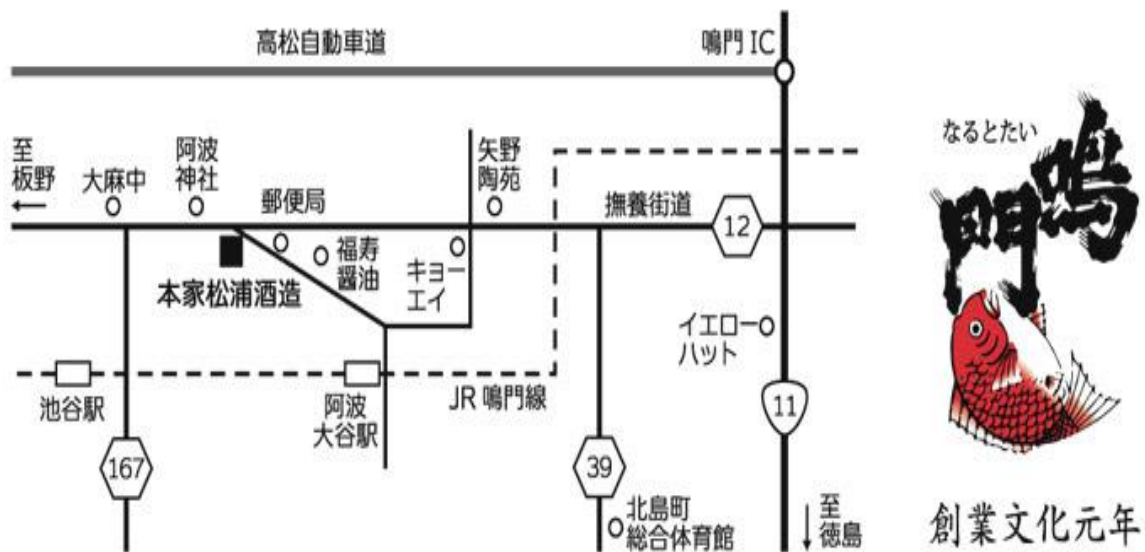
## ⑥株式会社本家松浦酒造場

松浦酒造は、文化元年に創業の、200年以上続く老舗酒蔵で、徳島県内で現存する最古の酒蔵である。ブランドの「鳴門鯛」は国内外の品評会で何度も高評価を得ている日本酒である。鳴門鯛は国内市場にとどまらず、昭和62年より海外へ販路を拡大しており、主な輸出先はアメリカが多く、あとは中国、ヨーロッパ、オーストラリア、東南アジアの国々に輸出している。また、平成28年にはLED 夢酵母を使用した日本酒を製造した。平成29年にアメリカSF映画「ブレードランナー2049」で鳴門鯛が登場した。令和2年春から「ビオトープ米でお酒を造るプロジェクト」に参加し、本品の売り上げの一部を、コウノトリ保護活動の振興のためにNPO 法人とくしまコウノトリ基金に寄付する。近年では、福寿醤油と共同して、酒蔵と醤油蔵を見学できる“Kura&Kura 見学”を実施、また、「たちきゅう」という名のお酒を飲むイベントも開催している。



しかし、令和2年の2月ごろから新型コロナウイルスの猛威が世界中を襲った。新しい試みをしなればと日々模索している中、その中で松浦酒造は、同年5月にコロナの影響で需要が増加した消毒液の代替品として、高濃度アルコールを水で薄めた「松浦高濃度アルコール66」を生産し、販売した。また、コロナウイルス感染予防のため、外出自粛で家飲みが増えていることから、自宅で気軽に飲める柑橘果汁リキュールを発売。他にも、徳島では定番の「すだち酒」のラベルを疫病退散の願いを込めてアマビエちゃんラベルにしたものを販売した。





今後は、旅行会社と提携して、“鳴門酒蔵街道”と名付けたツアーを考えている。松浦酒造としては、「場所」と「お酒」を提供し、酒蔵に来てもらい、楽しんでもらう体験を与えていくつもりだ。また、鳴門市大麻町には多くの文化が残っている。大麻町にある大谷焼や神社、仏閣、お醤油、お寺などをマップにすることで地域を観光地にしたいと考えており、その場所でお酒を飲むことで、もっと身近にお酒を感じて欲しいと考えている。松浦酒造の前にある道、“撫養街道”が観光通りになる未来を構想しており、将来的に酒蔵を発展させ、地域に根付いた松浦酒造になっていくことを目指している。



会社名 : 株式会社本家松浦酒造場  
 所在地 : 〒779-0303 徳島県鳴門市大麻町池谷字柳の本  
 19番地  
 創業 : 文化元年(1804年)  
 電話番号 : 088-689-1110  
 F A X : 088-689-1109  
 資本金 : 500万円  
 ウェブサイト : <http://www.narutotai.jp/>

## ii : 自社の人材とスキルのアップを重視するタイプ



### ⑦株式会社ネオビエント

「ネオビエントは徳島から元気な未来を創ります」を企業理念に、平成17年、県内外でのイベント事業や施設運営、観光業を通じて、「徳島に新しい風を吹かせたい」と創業した。

「あすたむらんど徳島」や「渦の道」「大鳴門橋架橋記念館」などの指定管理事業、「おどる宝島パスポート事業」などの観光事業を受託するなど、着実に事業を拡大してきた。

とりわけ、徳島市阿波おどり実行委員会が阿波おどりの5年間の民間委託の公募を行った際、興行大手キョードー東京と関連会社のキョードーファクトリー、そして地元企業として唯一、同社が参画し、3社の共同事業体として受託したことはあまりにも有名。

藍原理津子社長の常にひたむき・前向きな経営姿勢には、多くのファンがいるが、同氏は「頼まれごととは試されごと」という言葉を大切にしており、「前へ前へ」と進む、その行動力とネットワークが会社の躍進の原動力の1つともなっている。

一方、社員を大切にする会社としても有名で、能力の向上や福利厚生、各種休暇制度も充実させており、働きやすい職場づくりを推進している。



そんな同社は、事業の性格上「集客がメイン」となるため、コロナ禍が各種事業を直撃し、受託している施設の休館を余儀なくされたり、感染予防対策の徹底に手間とコストを注入したりと、苦労を強いられている。

当然、入場料などの収入が減少する一方、衛生管理の手間と費用が増大し、経営を圧迫し、さらには、令和2年の夏の阿波踊りの全日程が中止となり、令和3年も開催の変更が検討されるなど、視界不良な状態が続き、さらなる試練が続いている。

このような中、「事業面」では、「とくしまマルシェの通販事業」を開始するとともに、非接触型イベントやVR（バーチャル・リアリティ）番組の制作など、新たな分野を積極的に開拓しており、一方、「労務面」では、業務量が減った人材を他社へ「在籍出向」させるなど、社員の雇用の維持にも全力をあげている。

厳しい状況下にあっても、前向きに頑張ってきた同社には、多くの県民から支援の声が寄せられ、苦境を乗り越える原動力ともなっている。



**会社名** : 株式会社ネオビエント

**住所** : 〒771-0202

板野郡北島町太郎八須字西ノ瀬34番地8（令和元年11月移転）

**創業** : 平成17年6月

**電話番号** : 088-698-7788

**FAX** : (1階 総務) 088-698-7821 / (2階 営業) 088-698-7822

**資本金** : 10,000千円

**従業員数** : 81名

**Mail** : [office@neovient.co.jp](mailto:office@neovient.co.jp)

**ウェブサイト** : <https://neovient.co.jp/>





## ⑧株式会社 ボン・アーム

ボン・アームは県内で4店舗を運営する調剤薬局で、企業理念を、「一人一人の想いと生きる力を尊重し、個人が望む人生を過ごせるよう、医療人として最高のお手伝いをするを使命とする。そのために最も尊ぶところは患者さんにとって一番身近な存在であり続けることである。」としている。

従業員の9割が女性であり、少子化対策として子育て支援に積極的に取り組む企業などへの認定マークである厚生労働省の「くるみん認定企業」となるなど、働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる。



また、「従業員の健康管理を経営的な支援で考え、戦略的に取り組んでいる企業」である「健康経営優良法人」に、平成元年から3年連続で認定されている。

その他、藍の効能に着目した食用藍の普及活動や藍の効能の研究、薬剤師と管理栄養士がタッグを組んだ食育活動など、企業理念に基づく「医療人として最高のお手伝い」を実践している。

新型コロナウイルスの蔓延により、事業売上げの減少や営業活動への影響、感染予防対策への手間やコストの増という、経営へのマイナス面があった。

しかしながら、政府の配布した布マスクが不要な人に対し、藍染めハンカチと交換し、行政などの布マスクを必要とするところに、自社で製作した藍染めマスクとともに寄付をするとい

う社会貢献活動を行った。

さらに、民間企業と奈良県立医科大学の「藍由来の抽出物資による、新型コロナウイルスに対する不活化効果」の研究に対し、阿波藍を提供し、研究支援が成果を上げたところである。

今後も、企業理念に基づき、スタッフ一同、医療人として最高のお手伝いをするをを目指し、「藍の効能」の研究をはじめ各種の取り組みについても、ぶれることなく継続していきたいと考えている。



会社名 : 株式会社 ボン・アーム  
所在地 : (本社)  
〒770-0846  
徳島市南内町1-6 ミタニビル2F  
(県内に4店舗を運営)  
設立 : 平成18年10月  
電話番号 : 088-656-3220  
FAX : 088-656-3225  
ウェブサイト : <https://www.bon-arm.com/>

### iii:事業の多面化により経営の安定化を重視するタイプ



## ⑨株式会社 エス・ビー・シー

昭和44年12月に有限会社四国ボーリング工業として、現在の美馬市脇町に設立し、50年余の歴史を有する、県西部では希少な建設コンサルタント事業者で、高い技術力と豊富な人材を有する企業として、高く評価されている。

一時は3期連続の大幅赤字を計上するなど、苦境にあったが、恵まれた人材の活用と組織体質の強化、積極的な営業による顧客の増加、ニッチな分野への挑戦、社員のモチベーションアップへの取り組みなどにより、最近10年間で社員数、売上高ともに倍増し、10年以上連続で経常利益を計上するなど、着実に成長を遂げてきた。

企業の特徴は、業務形態が地質調査に始まり、土地の測量や設計、施工までの現場の全ての工程をワンストップで実施が可能な「トータルソリューション」を実現できる点である。また、各工程を担当する部門からのフィードバックにより、さらに高品質かつ低コストで、施工しやすい構造物の成果へとつなげている。

とりわけ地質調査業務は、設立当初からの業務であり、多数のボーリングオペレーターを有するとともに、環境負荷が少ない気泡ボーリングを行うなど、全国でも実際に行える業者が少ない、高度かつニッチな技術も身につけていることで、県外からも要請があり、軽いフットワークで駆けつけ事業を行っている。

近年では、ICT施工やドローンを活用した3D測量などの新技術とともに、AIソフト開発、リニアなどの計画地で実施する特殊な地質調査、建築特許技術の営業権取得など、多岐にわたる事業展開を図っている。また、これらの技術をインフラの整備のみならず、災害時の避難や救助への備えとして、美馬市消防本部と災害時等における協定を締結している。

若手社員が多いこと、女性職員が多いことも大きな特徴といえる。以前は建設関連業特有の男性中心の会社となっており、仮に女性職員が入っても、「結婚すれば退職するもの」という企業風土が根付いていた。しかしながら現社長が10年以上前に、「今後は女性の働ける環境を作らないと雇用は成立しない」と判断し、以後女性技術者の積極的な雇用とともに、産休、育休のみならず、子供の急病時やイベント時などに気軽に休める環境整備、子育てしながら働ける環境づくりを進めた結果、育休、産休後の女性技術者の継続雇用を多数実現し



ている。取り組み当時は反対的な声もあったものの、今では当たり前のように女性が入社し、活躍している。「企業風土はそんなにすぐには変わらない、人も突然考え方は変わらない。じっくりと浸透させる」とは社長の弁。多様な働き方があっていい、という原則が会社に浸透しており、働く人の個別の事情を配慮する風土を形成している。

現在は若手、女性が働きやすい環境をさらに整備すべく、若手社員のみで構成された「若手の会」が毎月社内の働く環境やレクリエーション行事などについて積極的に議論している。これらの意見は社長にダイレクトに届く仕組みとなっている。

また、社内で資格取得講義を開催し、社長や管理職自らが講師を務め、若手の成長を強く後押ししており、土木以外の分野の卒業生も、早期に資格取得を実現している。毎月支給される資格手当のほか、合格時に一時金として合格手当が支払われるなど、資格取得意欲を高める社内の仕組みも常にアップデートされ、「働きやすい環境整備」と「技術力の向上」を同社の重要な戦略としている。

新型コロナウイルスにより、一定の事業の制約も受けたところではあるが、公共工事のウエイトが高く、新規顧客の順調な増加、国土強靱化緊急対策の延長などもあり、安定的な経営状況を継続することができており、社員数も近年中に 100 名を超える計画である。

コロナ後を見据えては、経営理念として「ワクワクが湧き上がる会社と、イキイキとした地域・社会の実現」「未来のまちづくりに貢献するトータルソリューション企業としての継続的挑戦」を掲げており、従業員の若さとアイデアを武器に、「技術と人材の両方を成長」させ、「地域に貢献」し続ける企業として発展していきたいと考えている。



**会社名：株式会社 エス・ビー・シー**

本社所在地：〒779-3742

徳島県美馬市脇町字西赤谷 1 0 6 3 - 1 （1 支店、1 営業所）

設 立：昭和 44 年 12 月

電話番号：0883-52-1621

F A X ：0883-52-1685

資本金 ：20, 260 千円

従業員数：85 名

ウェブサイト：<http://www.sbc-1969.co.jp/company/index.html>





## ⑩徳島合同証券株式会社

徳島合同証券株式会社は、徳島県内で本店、小松島営業所の2店舗を展開する証券会社である。平成25年に、ダンクソフトの「ペーパーレス・ストレッチ」を導入し、大量の資料を削減することを始めた。今まで当たり前となっていた常識を排除し、本当に必要なものかどうかを見極めることに時間を費やした。各自の備品も整理することでオフィスの断捨離に成功し、結果的には3,5トンもの紙を廃棄し、700万円ものコストを節約できたうえに、社員一人一人の意識改革へとつながった。オフィスのスリム化などの取り組みにより、業績はV字回復した。また、サイボウズ社のクラウド型業務用アプリケーション「kintone」を導入し、



従来ホワイトボードを使って手書きで管理していたスケジュール等をクラウド上で共有化。この共有システムで、移動中でも確認が可能となり、ストレスフリーな働き方ができるようになった。

現在は、従来のビジネスモデルからの脱却を試みており、顧客ファーストを優先した取組で数年先のビジョンを見据え、変革しようとしている。

そして、新型コロナウイルス禍では、コロナの影響で困っている飲食店を支援するため、クラウドファンディングでの支援を提案した。

令和2年8月24日、株式会社 Yamato さわかみ事業承継機構と業務提携。事業承継問題を抱えている企業のために、積極的に解決していくために取り組んでいく方針である。

今後は、ますますサイバー・セキュリティーの必要性が高まると考え、安全なネット環境づくりに力を入れていく。これと同時に、お客様との信頼関係を築く上で、必要不可欠となる社員のセキュリティー・リテラシーの向上を目指す。

また、今年で5回目となる「さわかみオペラ IN 徳島」と、2021年12月4日にオペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」を共催。初心者からでも練習に参加し、本番に出演することができる。練習場所はすべて徳島合同証券内で行っている。コロナ禍で心が沈みがちになる今だからこそ、地域を巻き込み、オペラを通じて活性化を実現しようとしている。

**会社名** : 徳島合同証券株式会社

**所在地** : 本店 〒770-0844 徳島県徳島市中通町3-5-1

**設立** : 昭和28年2月

**電話番号** : 088-625-7171

**FAX** : 088-625-7197

**資本金** : 1億円

**ウェブサイト** : <https://www.tg-sec.co.jp/>







## ⑪株式会社 西瀨スレート工業所

同社は、昭和30年に創業し、家を形作る上で不可欠な3要素、「屋根」「躯体」「基礎」のうちの「屋根工事」を主軸に事業をスタートしたが、お客様からのニーズ、地域への貢献、そして次世代の子供たちへの想いなどから、山の尾根を登っていくと視界が広がっていくように、着実に事業を展開してきた。

屋根工事を主軸に「瓦の製造」、さらには、自社施工部門との連携による使いやすさ、コストの低減、剥がれ落ち防止や一発仕上げなどの特徴をもつ「漆喰の自社での製造」。

また、お客様の家に関するお困り事にお応えする中で、水回りや内装、外装、屋根や外構などの「リフォーム工事」へと事業が広がってきた。



また、「漆喰」については、徳島県や徳島大学の協力のもと、吉野川工業用水の処理過程で発生する土「河川シルト」を再利用することで、長期保管を可能にした「南蛮漆喰の原材料の新製品」も発売している。

そして、平成24年からは、環境・防災にも重点を置くこととし、工場倉庫に大容量の太陽光発電を設置し、新たな発電所事業をスタート、他社の先陣を切るものであった。この「エネルギーの地産地消への取り組み」は、地球温暖化防止に寄与したい、という想いから始まったもので、これまで蓄積

したスキルやノウハウの活用という意味もあり、その後、県内外で多数のプロジェクトを手がけることとなった。

ここに至るまでの事業を可能にしたのは、平成23年には「阿波の名工」も輩出したが「プロ人材の育成」、また自社の広報紙「かわら版」の発行、経営方針大会の開催、ボウリング大会や餅つき大会、新年互礼会など「社員の一体感の醸成」、さらには、地域の学校への寄付や防災フェスタへの参加などの「社会貢献活動」、いわば従業員と地域社会に支えられた結果と、西淵正和社長は語る。

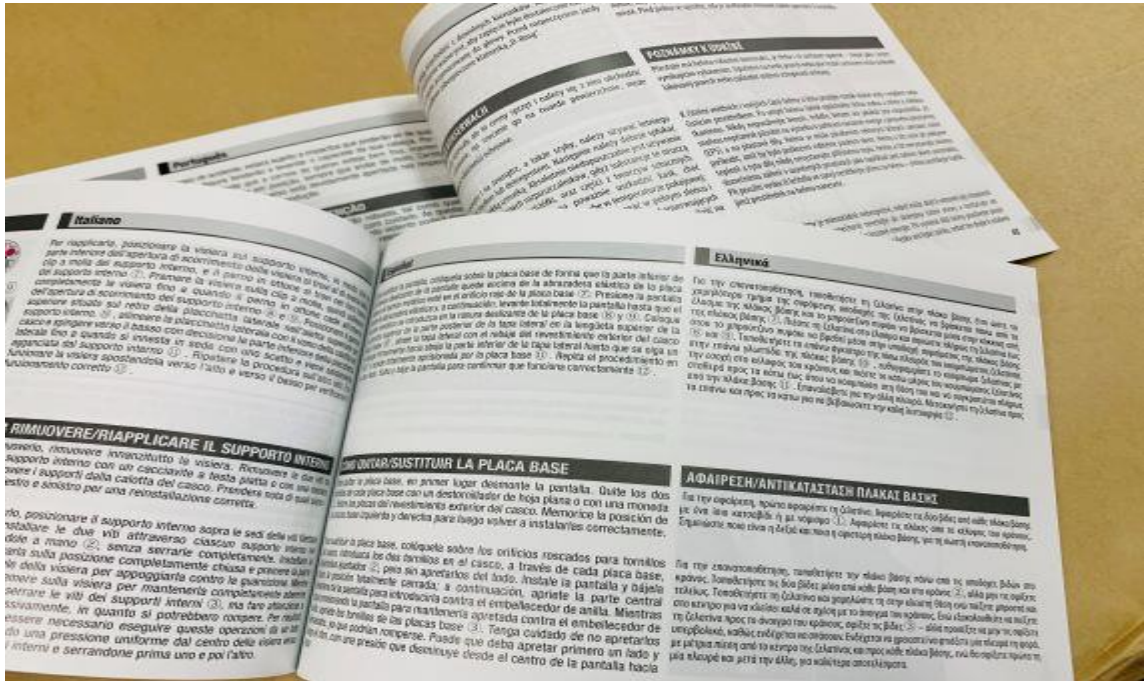
新型コロナウイルスによる売り上げの減少により、大きなダメージを被ったところではあるが、この間に新社屋が完成、新たな拠点において、新規事業の「植物工場の稼働に向けた取り組み」を加速することとした。今回のコロナ禍も含めた社会環境の変化に対応し、天候にも左右されず、さらには、活発といつつも危機が迫る地域農業へ貢献するとともに、従来からの取引先と異業種の企業等との連携を図る中で、若い人たちの経営力を高めたいとの考えからスタートさせた事業である。

常に、新たな分野や地域に貢献できる分野へと挑戦する「人材力」や「強い団結力」、そして何より「地元阿波市と子供たちの未来のために」という強い思いを持って、その力を存分に発揮し、「しっかりと地域に根付き、貢献できる企業として、今後も発展していきたい。」と、西淵社長を先頭に奮闘している。



会社名 : 株式会社 西淵スレート工業所  
所在地 : 〒771-1701 阿波市阿波町平川原南18番地  
設立 : 昭和30年  
電話番号 : 0883-36-3228  
FAX : 0883-36-5984  
資本金 : 1,000万円  
従業員数 : 25人  
ウェブサイト : <https://nishibuchi.co.jp/>





## ⑫福山印刷株式会社

本社が徳島県の南、海部郡牟岐町にあり、印刷会社・製造業としては「地理的に不利な立地」と考えられるが、昨年 SDGs 宣言をし、インバウンドや企業の輸出支援のためのパンフレット、マニュアルの翻訳など、ハイレベルな印刷のサービスを提供しながら、地域への貢献活動も実践している。

同社では、翻訳業務からデザイン制作、印刷、製本、梱包、配送業務、在庫管理とワンストップでのサービスを提供している。その中でも翻訳は、ネイティブ翻訳かつ全世界30言語の翻訳に対応しており、その上で宗教、地域、経済の状況を踏まえた翻訳に対応している。

労働環境への取り組みとしては、年間休日が120日オーバーと業界でも屈指の休日となっていること、社員の健康のため、全社員が非喫煙者で同時に受動喫煙防止策として敷地内での喫煙を禁止している。またPC業務担当者のテレワークの業務も進め、どこでも仕事ができる仕組みを構築している。

社会貢献モデルとして、「1-1モデル」という活動をしており、全社員の労働時間の1分、会社利益の1分を地域社会に還元していく活動を行っている。最近では、町内飲食店の支援として「テイクアウト、デリバリーを始めた事業所のPOP」の配布、地域の保育園・小中学校に「手洗い、うがい促進」ポスターを制作し、無料配布をした。

新型コロナウイルス禍においても、お客様とのやりとりや業務に大きな支障はなく、スムーズに遂行できている。これは今まで、zoom や Teams などの web 会議システムと IoT、機械の無人化や自動化を積極的に取り入れてきたことが大きく影響している。現在、全社員が経営数字や仕事の状況をスマホやタブレットで確認し、コミュニケーションを取りあっている。テレワ



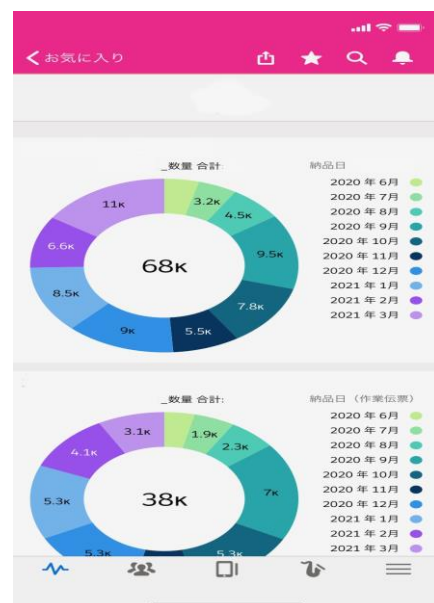
ークの導入や休暇の増をしながらも、お客様に商品やサービスを提供できるよう努めていく。

企業理念に「人に環境に優しい」という言葉がある。今後も持続可能な「1-1モデル」を継続しながら、社員が安心・安全で働きやすい環境にしていく。

営業面では、まだまだ機会損失もあり、今後は、採用活動にも力を入れ、現在の強みである「ワンストップサービス」をより強化し、お客様のためによりよい商品サービスを提供し続けていく。



会社名 : 福山印刷株式会社  
所在地 : 〒775-0004  
徳島県海部郡牟岐町大字川長字市宇谷 174-1  
設立 : 昭和46年  
電話番号 : 0884-72-1679  
FAX : 0884-72-2879  
ウェブサイト :  
<https://www.fuku-print.jp/index.html>



スマートフォンによるデータの共有例

## iv:時代のニーズの先取りを重視するタイプ



### ⑬株式会社K O F S

株式会社K O F Sは、カフェカフス徳島本店、THE PLAIN SWEETS、カフェカフス阿南店の三店舗を展開している。平成19年に創業した当初は、20代の女性をターゲットとしていた。平成27年に本店を西新浜町から八万町へ移転し、同時にターゲットも若い女性中心から子育て世代へとシフトチェンジした。その後、平成29年8月に株式会社化し、テイクアウト事業を始める。さらに、本店の隣にTHE PLAIN SWEETS、カフェK O F S阿南店をオープンし、徳島で人気のカフェとして売り上げを伸ばしてきた。オリジナルケーキは、JAL グルメファーストクラス春号にて表紙、見開きに掲載されている。



しかし、コロナウイルスの影響で飲食業界は大打撃を受けた。来店客数が激減し、売上も4月は前半同月比60%減、5月は休業し同36%まで落ち込んだことにより、状況を改善すべく資金繰りに奔走することもあった。令和2年2月、勉強会に参加し、ITツールについて勉強を始めた。これからはもっとIT技術が普及されると予想し、経営にもノウハウを取り入れたいと考えていたからだ。同年3月からネット注文を開始したところ新型コロナウイルスが蔓延した。テイクアウトの需要が高まったことから、同年5月のテイクアウトの売上は前年比10倍を記録。

その後、テイクアウト注文は、Google フォームをカスタムして使い、ネットで注文が完結するシステムに変更した。同年6月には、売上減から廃棄処分になってしまう牛乳をメーカーから買い取り、アイスクリームへ加工し、食品ロスを防いだ。また、自粛の時間を利用してスタッフと話し合いを重ね、固定費と変動費の大幅な見直しを徹底的に行った。

これからの3年間は、事業内容をイートイン、テイクアウト、通販の三本柱にする計画である。令和3年4月1日、テイクアウト専門店として「カフススタンド羽ノ浦店」をオープンする。コロナ後の食の在り方の変化を見据え、13坪程度の小規模店舗で出店する。カフスの強みである、人々の想いを敏感にキャッチする洗練されたセンスで、今後も地域密着店舗を展開していく。

**会社名** : 株式会社K O F S

**設 立** : 平成29年

**所在地** : カフス徳島本店、THE PLAIN SWEETS 〒770-8070 徳島県徳島市八万町犬山 233-6

カフス阿南店 〒774-0017 徳島県阿南市見能林町林崎 458

KOFS STAND 〒779-1101 徳島県阿南市羽ノ浦町中庄市 35-1

**電話番号** : 088-679-7796

**ウェブサイト** : <https://www.cafe-kofs.com/>







## ⑭株式会社服部製糖所

服部製糖所は元治元年（1864年）に創業した老舗で、徳島県の阿波和三盆糖製糖元である。令和元年、大阪市で開かれた20カ国・地域首脳会議（G20サミット）のコーヒブレイクの場で、服部製糖所の「大無類和三盆」で作ったお干菓子が提供された。製糖所の隣には、阿波和三盆糖に気軽にふれあえる店舗「わんさんぼん」を併設している。「いいものを作らなければ、作り続ける意味がない」と実直丁寧な、昔ながらのサトウキビの在来品種である竹糖だけを使い、混じりけのない上品な味わいを生み出している。



わんさんぼんでは、ギルトフリー※なお砂糖を製造販売。お干菓子は無添加、着色料不使用。和三盆のみを使用し厳選した無添加素材で色付けしている。昔ながらの形やかわいい形のお干菓子も揃えていて、伝統的な阿波和三盆糖であるが、“今”の感覚を取り入れ、全ての世代に親しまれるかわいらしいお干菓子を製造している。

※ギルトフリーとは、消費者が製品や商用サービスを購入するときに被る罪悪感の最小化に基づく消費のパターンのこと。

ところが、新型コロナウイルスが流行し、当時は、卸売主体の事業内容であったため、売上が50%以上減少し、大きな影響を受けた。イベントは軒並み中止で、不要不急とされたため、振る舞われるお菓子の需要も減り、深刻な状況であった。そこで、新型コロナウイルス感染拡大の影響で打撃を受けた全国の宿泊施設や飲食店を支援するグルメ電子商取引サイト「TASTE LOCAL (テイストローカル)」で、特別セットを販売。令和2年4月からは、季節の花をモチーフにした、見た目が綺麗で味も美味しい、月替わりのおはぎ「花輝 (はなひかり)」を販売すると、SNS を中心に話題となり、応援する旨のメッセージと注文が殺到した。中には、2～3カ月待ちの商品も出てきた。

今後は、和三盆専門店をオープンすることを計画している。お菓子はもちろん、スイーツも販売する。地元の人に広まり、愛され、観光スポットとなるような店舗を目指している。

効率よく生産し、利益率を上げるために、原材料をサトウキビの在来品種である竹糖から沖縄などで栽培されている一般的なサトウキビ (太キビ) に変えた方が良いというアドバイスをもらうこともあるが、そこを変えてしまうと、伝統である和三盆という文化がなくなってしまう。それをするくらいなら、廃業しろとの先代からの教えを守りつつ、時代が変わっても変わらない和三盆を守っていく。

**会社名** : 株式会社服部製糖所

**所在地** : 771-1402 徳島県阿波市吉野町西条東姥御前270

**創業** : 1864年

**電話番号** : 088-696-5270

**ウェブサイト** : <https://www.awawasanbon.com/>







## ⑮株式会社広沢自動車学校

広沢自動車学校は、設立当初より理念に「広沢母校」を掲げており、お客様満足度96%を達成している。

少子高齢化、人口減少といった外部環境により、普通免許取得者数は減少傾向にあるが、広沢自動車学校は、徳島市内における入校生数のシェア率を27%から40%へと大幅に増加させた。令和2年の普通自動車の入校生数は、過去最高を記録している。

平成30年から新事業としてドローンスクールの運営も始めており、常に新しい時代のトレンドを取り入れている。



令和2年1月に中小企業として初めて消費者庁より、内閣府特命担当大臣表彰を受賞。また、ここ数年は、積極的に動画作成に注力しており、動画を活用した卒業式を開催したり、会社PR動画を制作しSNSで配信をしたりしている。YOUTUBEのチャンネルの登録者数は6,000人を突破した。

これらが若手社員へのモチベーション向上に繋がり、さらなるサービスの品質向上、雰囲気の良い職場が実現されてきたと考えられる。現在、新入社員の自主退職者は過去5年間0人であり、職場の従業員定着率は100%を記録している。



広沢自動車学校は、人との関わりを大事にしており、イベントを開催することが多かったが、新型コロナウイルスの蔓延により開催することが難しくなった。

この状況を会社の力が試される機会と捉え、オンラインイベントで開催するなど新しいスタイルを確立した。また、密になりやすい学科の授業では、全席に個別のパーティションを設置。車内には、オゾン発生装置を完備した。これによって、換気ができない空間でもオゾンでウイルス予防ができる。

令和2年11月、新サービスとして「社内動画クリエイター」を始めた。ビジネス現場で必須となる動画の作成ができる人材の育成をするために、教育カリキュラムを提示している。

今後、事故の起こらない世界を実現するために、自動車学校が免許を取りに行くだけの場所ではなく、生徒も講師も一緒に考えて学べるような場所にしたいと考えている。自動車学校が若い人たちの学びの場となり、一生の友を見つけ、卒業してもいつでも帰ってきたいと思える「母校」になることを目標としている。



会社名 : 株式会社広沢自動車学校  
所在地 : 〒770-0004 徳島県徳島市南田宮2-4-3  
設立 : 昭和38年7月  
電話番号 : 088-631-0321  
FAX : 088-631-0322  
従業員数 : 49名  
ウェブサイト : <https://hirosawa-ds.com/>



## ⑩理容たけうち

理容たけうちは、昭和 37 年 4 月に創立した老舗理容店。

代表の竹内俊樹さんは、高校卒業後、東京にある大学に通いながら、専門学校へ通い、卒業後、2 年間同校教員の助手として修業する。その後、都内で 2 年間働き、ロンドンのヘアドレッシングスクールで半年間研修を積んだ。24 歳で帰郷し、両親の店で働く傍らで、実力を確認するために、理容競技大会に積極的に出場している。

平成 12 年 12 月に、県下初のフルバリアフリーのヘアサロンで第五回徳島県やさしいまちづくり賞を受賞。「全てのお客様に安心、安全、優美」を提供できるようにしたいと考えている。

平成 15 年に、車椅子の方や、身体の弱ったお年寄りにも気軽に利用できる理容室にできないかと考え、「動く理容室」と名付けた特殊理美容車両の運用を開始した。車両内は店舗と同じような空間を作っているため、実際に外出して店舗に行っているような気持ちになることができる。カット料金は店舗と同じで、プラス出張料金をもらうシステムである。

平成 28 年には県内でもいち早く男性の育児休業を取得した実績がある。令和 2 年 10 月に、徳島県はぐくみ支援企業の認定を取得している。また、30 年以上前から地元の福祉施設でボランティアとして月に 1 回のヘアカットを行っている。



新型コロナウイルス禍での影響は少ないが、密になることや外出に抵抗があるお客様に、特殊理美容車両で、個別に訪問理容を展開しているため、需要が増えた。また、3密回避のために、ホームページにアクセスすると現在の店内状況がリアルタイムで反映されるシステムを導入している。これを利用することで、3密回避をするとともに、顧客も理容店側も時間を有効に使えるようになり、施術の効率化に寄与している。新しい働き方を取り入れることで、スタッフの休日を増やすことができた。

今後も、ボランティア活動を続け、徳島に住む人全員が同じように暮らせる社会を実現するため、情報リテラシーを上げ、フットワークを活かした地域の活性化を、まちなりの理容店から発信していきたいと考えている。



会社名 : 理容たけうち  
所在地 : 〒771-1273 徳島県板野郡藍住町勝瑞字東勝地 392-29  
創業 : 昭和37年4月  
電話番号 : 088-641-0561  
FAX : 088-641-0694  
ウェブサイト : <http://www.takeuchi-hair.com/index.shtml>